

保護者 様

勝浦市立勝浦小学校
校 長 原 田 齊

アンケート調査の集計結果について

初秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、学校教育活動にご理解とご協力をいただいていることに感謝申し上げます。

さて、7月に実施しました保護者の皆様のアンケート、子どものアンケート、教職員による自己評価を集計した結果と今後の改善点についてお知らせします。

また、学校評価の客観性・透明性を高めるために、地域住民の代表の方々や愛育会役員による学校関係者評価委員会を8月28日（水）に開催しました。その会議の中で、今回の結果について評価し、提言をいただきましたので、併せてお知らせします。

なお、項目は保護者・子ども・教職員の評価結果から、今年度の重点課題に関連するものを選んで、比較したものです。また、数値については「とてもそう思う」「すこしそう思う」を含めた数値です。

【保護者・子ども・教職員の3者の比較から】

1 進んで学ぶ、かしこい子の育成のために

重 点 項 目	保護者	子ども	教職員
子どもは、毎日楽しく登校している。	97%	97%	100%
子どもは、「読み・書き・計算」などの学習内容を理解している。	89%	94%	67%
子どもは、進んで宿題や家庭学習にきちんと取り組んでいる。	75%	91%	83%
子どもは、よく読書をしている。	35%	81%	58%
子どもは、自分の考えを持ち、学習に進んで参加している。	73%	85%	78%

結果の要点

- (保護者) ○学習内容の理解についての数値は高い。
▲読書への取組みについては、厳しい評価をしている。
- (子ども) ○どの項目も80%以上の肯定的評価をしている。
- (教職員) ○宿題等家庭での学習への取組についての数値は高い。
▲学習内容の理解及び読書への取組については、課題を感じている。



【 今 後 の 改 善 点 】

- ☆ 児童がより高い主体性をもって学習に取り組めるよう指導方法を工夫し、基礎的な学力の定着も含めた学力の向上を図っていきます。
- ☆ 「心の栄養」になるとともに、言語力・読解力を伸ばすことができる読書を、家庭と連携してすすめていきます。

2 「思いやりのある、やさしい子」の育成のために

重 点 項 目	保護者	子ども	教職員
子どもは、悪口を言ったり、いじわるをしたりせず、友だちとなかよくしている。	96%	95%	63%
子どもは、ありがとう、じょうずだねなどのぽかぽか言葉を使っている。	86%	96%	74%
子どもは、友だちの良いところを認め互いに協力しながら生活している。	92%	94%	79%
子どもは、学校での約束や社会（交通ルールを含む）のルールを守ることが身に付いている。	83%	97%	79%
子どもは、日々の学校生活の中で、子どもたちは笑顔で挨拶している。	77%	94%	58%
子どもは、大人に悩みを相談している。	86%	94%	89%
子どもは、学校や家庭でのできごと、友だちのことをよく話してくれる。	89%	85%	90%

結果の要点

- （保護者） ○友だちとの関わりについてはの数值は高い。
 ▲挨拶については、もう一步の努力を求めている。
- （子ども） ○どの項目も80%以上の肯定的評価をしている。
- （教職員） ○子どもとのコミュニケーション、相談への対応についての評価は高い。
 ▲挨拶を含めた人間関係づくりの力や社会性については、やや課題を感じている。



【 今 後 の 改 善 点 】

- ☆ 児童が努力した点を認めて自己存在感や有能感を高め、気持ちのよい挨拶に結び付けていきます。

3 「健康でたくましい子」の育成のために

重 点 項 目	保護者	子ども	教職員
子どもは、歯磨きしたり、好き嫌いをしたりせず健康に気を付けて生活している。	87%	90%	79%
子どもは、運動に親しみ、体力の向上を目指して取り組んでいる。	96%	96%	84%
子どもは、何事にもあきらめず、頑張っている。	85%	95%	90%

結果の要点

- （保護者） ○どの項目も80%以上の肯定的評価をしている。
- （子ども） ○どの項目も80%以上の肯定的評価をしている。
- （教職員） ▲食生活については、やや課題を感じている。



【 今 後 の 改 善 点 】

- ☆ 栄養教諭、家庭と連携して食に関する指導を充実させ、食生活をはじめとする基本的な生活習慣の質的な向上を図っていきます。

【保護者の学校評価と教職員の自己評価について】

4 「地域とともに歩む学校づくり」のために

評 価 項 目	保護者	教職員
学校は、子どもの基礎学力（読み・書き・計算）の定着に向けて取り組んでいる。	92%	94%
学校は、子どもが授業に興味・関心をもち、意欲的に取り組めるよう様々な工夫をしている。	88%	89%
学校は、自分で考え行動できる子どもの育成に取り組んでいる。	90%	83%
学校は、子どものよいところや頑張りを認め、一人一人に応じた適切な指導・支援をしている。	87%	100%
学校は、いじめのないよりよい人間関係づくりに努めている。	83%	100%
学校は、子どもの悩みや相談にきちんと対応している。	85%	100%
学校は、子どもの健康や食生活の充実のために対応している。	96%	63%
学校は、家庭・地域と連携し、子どもに避難訓練、交通安全指導、不審者対応等で安全意識を高めている。	96%	90%
学校は、平素の教育活動を学年だよりやホームページ、学校公開等を通して積極的に伝えている。	93%	56%
学校は、学校評価や保護者、地域の意見・要望等を教育活動に生かしている。	86%	67%

結果の要点

- （保護者） ○どの項目も80%以上の肯定的評価をしている。
- （教職員） ○児童が生き生きと学校生活を送れるよう努めている。
- ▲学校と家庭・地域との連携に努力の余地がある。



【 今 後 の 改 善 点 】

- ☆ 学校での児童の様子や学校の取り組みを発信し、家庭・地域の理解を得て連携を深めていきます。

【学校関係者評価委員の方々からの主な提言】（8月28日の学校関係者評価会議より）

1 読書について

- 子どもが読書に親しむためには、学校だけでなく家庭での取り組みが必要である。読み聞かせをしたり家族で読書するなど、家庭の環境づくりが大切である。

2 挨拶について

- 相手に伝わらないと挨拶とは言いがたい。学校・家庭で大人が模範を示していきたい。

3 安全指導について

- 学校で行っている避難訓練や安全教育の成果が、家庭や地域に反映されるとよい。外出中に災害が起きたときの避難場所を決めておくなど、家庭に働きかけていきたい。

4 その他

- 保護者の方々から様々な意見をいただいている。中には厳しいものもあるが、学校の考えや取り組みを丁寧に説明していくことが大切である。
- 今後グローバル化が進み、英語が重要になる。カッキーン活動など、全校で英語に親しむ常時活動を設けてはどうか。

※学校関係者評価委員の方々からいただいた提言について、2学期以降、保護者の方々と連携・協力して進めていきます。

【意見・要望】（保護者の皆様からの意見・要望と学校の今後の取り組み等について）

保護者からの意見・要望	学校の今後の取り組み等について
授業の進み具合を1組と2組でそろえてほしい。 2名	評価委員より、「学級の児童の実態によって、授業の進度に違いが生じてくる」とのお話がありました。担任は、児童の理解の様子を見て、ときには時間をかけることもある点をご理解をいただきたいと思います。指導方法等の工夫改善を常に図りながら、学期終了時には進度がそろっているようにします。
宿題の量が少なく、今後多くならないか不安である。計画的に出してほしい。1名	児童の実態に応じて、学習内容を定着させるために練習が必要であれば宿題を多めに出すことはあります。ただし、児童の家庭での生活に無理が生じないよう気を付けていきます。もし、時間に余裕がありましたら、愛育会総会でお渡しした「学習のすすめ」を参考に自主学習ができるようお声をかけてくださると幸いです。
小学校の学習は、中学校以降のその基礎であるので、理解不足のところが無いように指導していただきたい。1名 児童が、自ら学習に取り組みたくなるような課題の出し方、評価の仕方をしてほしい。1名	研修等を行いながら、「主体的・対話的で深い学び」の視点から指導方法の工夫改善を図っていきます。評価については、授業中の様子やノートの記述から、関心・意欲や思考を一層丁寧に見とっていきます。
読書タイムを設けるなど、もっと読書させてほしい。また、図書館の本の充実を図ってほしい。1名	現在、火・木曜日の8時10分から8時25分までを朝読書の時間とし、定期的にボランティア団体による読み聞かせを行っています。昼休みに図書室で読書をしている児童も見かけます。今後も学校と家庭で読書に親しませていければと思います。また、図書室の本については、毎年購入するほかに児童の興味を引くような工夫を検討します。
今年になって持ち物の制限が厳しくなったが理由がわからない。1名 一部のトラブルで持ち物を禁止しているように思える。1名	全ての児童が授業に集中し、気持ちよく学校生活が送れるよう、高価であったり華美であったりする道具は制限せざるを得ないと考えます。児童の成長段階を踏まえ、教職員で慎重に協議して学校・学級の方針として説明していきます。
運動会で、リレー選手と応援団、リレー選手と開閉会式担当と、一部の児童が目立つのはどうかと思う。1名	希望者が定員を超えた場合は公平な選考を行って選出していますが、改めて選考の方法を確認して臨みます。また、注目度が高くなくても一人一人の児童の頑張りに目を配り、称賛していきます。
体力向上のために、業間マラソンの回数を増やしてほしい。1名	今年度も、期間や回数を検討の上、業間マラソンを実施する予定です。また、体育の授業の始めにおにごっこを行うなど、体力向上に向けた工夫をします。
先生が子どもと向き合えなかったり子どもの悪口を言ったりして、信頼関係ができていないように感じる模範的な振る舞いをお願いしたい。2名	常に人権意識をもち、児童の思いをとらえてよい方向性を探っていくこと、また、授業中以外でも状況に応じた適切な言動をとおし、広い意味での道徳教育を実践していくことを確認します。
集団下校をしても、集団で帰っている姿を見たことがない。1名	年に数回地区担当の職員が下校に付き添い、必要に応じて指導します。家庭でもお声かけいただければと思います。
ホームページを毎日確認しているが、去年に比べて学校の様子がわからない。1名	児童の様子や学校の取り組みをお知らせするよう、直ちに改善します。